

はたちのつどい

節目を祝い

心新たに



1月8日(日)、「七尾市はたちのつどい」が開催され、364人が出席しました。今年のテーマは「縁」。これまでに七尾で出会った人との縁を大切に、これからの人生を歩んでいこうという思いが込められています。

式典では、はたちのつどい実行委員会の間蔵裕亮さんと山崎葵夕さんが決意を宣言。「困難に立ち向かいながら、社会をリードし、ふるさと七尾を盛り上げていく主役となる」と述べると、華やかな振袖やスーツに身を包んだ出席者は表情を引き締め、将来の活躍を心に誓いました。

記念行事では、中学校時代の恩師が登壇。当時の思い出などが語られると、懐かしい記憶が呼び起され、会場は笑顔とともに温かい雰囲気になりました。



はたちの皆さんおめでとうございます

感謝を胸に 新たな一步を

七尾市はたちのつどい実行委員長 宮崎 巧夢

約20年前この世に生を受け、今日という日を迎えることができました。改めて大人としての自覚を持ち、責任ある行動に努めていきます。ここまで私たちのことをご指導くださった先生方、そして今日まで育ててくれた両親や家族に、心から感謝しています。今日から晴れやかな気持ちで、新たな一步を踏み出していきます。



カタログポケットでこのページを開き、マークをタップすると未掲載写真が閲覧できます



大きな節目を迎えた出席者は、保護者や恩師に見守られながら、皆さんの仲間とともに新たなステージへと歩み始めました。